

## 第5回倉敷市総合計画審議会 第3分科会議事録（要旨）

会議名称		第5回 倉敷市総合計画審議会 第3分科会（生活環境・防災・都市基盤）
開催日時		令和2年7月13日(月) 14:00～15:15
開催場所		倉敷市役所 10階大会議室
出席者 ※敬称略	審議会 委員	伊東 裕紀, 塩津 孝明, 田野 美佐, 平松 恵美子, 松岡 智子
	市職員	企画経営室長, 総合計画策定研究班員, 事務局
関係者	関係者	委託事業者
傍聴者	傍聴者	なし
欠席者 ※敬称略	審議会 委員	板谷 利昭, 守屋 弘志
会議次第		1 開会 2 現況及び今後のスケジュール 3 総合計画について 4 その他 5 閉会

1. 開会

2. 現況及び今後のスケジュールについて  
(事務局説明)

3. 総合計画について

審議

分科会長  
委員

まず、基本計画の第3分科会の担当分野を確認していきたい。

68頁、3-4の項で、1番目の現状に「化石燃料の燃焼等」が環境に影響を与えているという表現がされている。水島コンビナート地区には電力会社などがあり、発電等でかなり化石燃料を使っている企業もあるのが現実だが、このような表現をしてよいか。

次に70頁、3-5の防災の項で、前の分科会でも話の出た自主防災組織の組織率について、カバー率は高いが自分が組織に入っていることを意識していない人もいる状態だ。現状の中に、自主防災組織について記載してはどうか。

また、同じ項目、71頁の基本方針の4番目で、「防災・減災に関する意識の高揚～」とあるが、現在も取り組んでいることのため、前に「さらなる」の言葉を付け加えてはどうか。

73頁、3-6の水道での基本方針4番目「水道利用者に選んでいただける水道界の優良企業を目指します」とあるが、美味しい水を作るための優良企業なのか、経営健全化、経営基盤がしっかりしているということなのか。めざすところは「おいしい水」なのか「経営の面」なのかよくわからない。

75頁、3-7安全な道路環境の基本方針1番目で「通園・通学時」とあるが、「通勤時」も含めればよいのでは。また、基本方針4番目の「路上駐車」の対象が、車なのか歩道の自転車なのかわかりにくい。

また、79頁と81頁を見比べると、79頁、3-9では、基本方針1番目に「公共交通により、各地域・地区の拠点にアクセスできる環境を整備していく」というところで、「その沿線に暮らしを支える日常生活サービス施設や居住を誘導」とあるが、一方で81頁は、そうすることによって、それ以外のところでは、人が集まらなくなるような感じとなっており、「ライフスタイルやワークスタイルに合わせて、居住地が選択できるまちづくり」ということで、相反することになっていると感じた。

83頁、3-11、伝統的建造物群保存地区の基本方針1番目で（六次総にあった）「空家の活用」という文言が消えているのはなぜか。

市

68頁、3-4の項の「現状」は、1番目は地球規模の一般的な傾向を書いている。分科会として意見の方向性をまとめていただき、配慮が必要ということであれば、修正も検討する。

市

次の自主防災組織について組織率が低いということか。

委員

はい。今回防災の関係については、第七次総合計画で具体的な項目として初めて出ている。現状で、自主防災組織の組織率が低いことが分かっているので、しっかり上げていき、防災訓練など防災講座を実施し、

	「自助」「共助」「公助」をきちんとやり、自主防災組織のこともつけ足したらどうかということだ。
市	担当部局から、この3倍以上の内容提示があり、かなり割愛した。ご意見のようなことも書いてあり、必要なら書きぶりを再度検討する。
市	73頁、3-6の水道で、市民にとっては、市の水（水道局）以外の選択肢はないが、仕方なくではなく、積極的に市の水でよかったと思ってもらえるよう、水道局がやろうとしていることを広く情報発信し、安心して、市の水を使用してもらえるよう努め、今後の経営に生かしたい。そのようなスタンスで事業を進めていく必要があるということを形にしたのがこの言葉の意味だ。
委員	わかったような、わからなかったような感じだ。この文章を最初に読んだときに、倉敷市の水は他から得られるのかという印象もあった。
市	「倉敷市の水道を供給する事業体は、水道局で良かった」と思っていただけのようになりたいということを表示していて、市民にとっては選びようがない。だから仕方ないなという話ではなく、倉敷市の水道局で良かったと思っただきたいということだ。
委員	では、基本方針1番目の「最高品質のおいしい水道水」の項とミックスした表現でもよいのではないか。
市	上質な水を届けるということも、事業体としては重要なことであり、水質については研鑽していくということも含めている。
市	誤解を生んでもいけないので、事務局と担当で調整したい。 それから、次の頁、基本方針で通園、通学時、通勤はどうかということについては担当部局と、意見を踏まえて書きぶりを検討する。 路上駐車については、基本的には、市民の通行の妨げのことであると思うが、車も自転車も両方かどうか確認する。 次に79頁と81頁の矛盾ではないかという点については担当から。
市	コンパクトなまちづくりは、切り捨て論が出てきやすいところではあるが、今すぐにというわけではなく、今後ゆるやかにコンパクトなまちづくりを目指している。一方で、公共交通を軸にした考え方ではあるが、自動車社会を否定するのではなく、例えば結婚や就職といったライフステージに応じて、どこに住むか考える際に、「公共交通の近くで都市機能がコンパクトにまとまった暮らし」から「それ以外での暮らし」があり、そのイメージを提示することで、住む場所を選んでもらうということを考えている。
市	83頁の3-11の伝建地区の保存修理に空家の活用を入れられるかは、担当部局と調整したい。
委員	10年の計画だが途中で文言は変えるのか。71頁、3-5、基本方針一番下に新型コロナウイルスとあるが、新たな感染症などの表現の方がよいのではないか。
市	「新たな感染症」という言葉よりも、策定時にこういったことがあったことがわかるようにした方が、伝わりやすいのではないかということだ。このような書きぶりにしている。策定時にこのような課題が出た

	<p>という方が分かりやすいことから、災害の項目では、防災ですが感染症対策が出てきていて、その時代にこのようなことがあったとわかるように、記載している。</p>
委員	<p>わかった。</p> <p>3点お聞きしたい。</p> <p>先ほども意見のあった73頁で、基本方針が4つあるが、すべての文章に違和感がある。</p> <p>例えば1つ目、「最高品質のおいしい水道水にこだわります」とあるが、水道水は飲み水だけではないし、そこまでこだわると料金がといった話も出てくる。</p> <p>2つ目の「水道システムの被害を最小限に食い止めます」は、自然災害で被害を最小限に食い止めるという気持ちは分かるが、被害が起こった時に水道システムのインフラを維持することなど、災害の後も大事なのではないか。最後の「水道界の優良企業を目指します」も、これは確実に変更をお願いしたい。先ほどの説明なら、「満足度の高いサービスを目指します」など、そのような内容の方が分かりやすい。</p> <p>そして、2点目。77頁の基本方針に関して、まちづくりを推進するという施策の具体的な基本方針はもちろんだが、4つの方針のうち、2つ目の方針は、たくさん書いていても、結局同じことのような気がする。都市機能を集約化して総合力を強化して相互連携が強化されるなど、少し文章を変えただけで同じことを言っているような気がしてしまうので、再考をお願いしたい。</p> <p>そして3点目、総合計画全体に言えるが、基本目標3の中だけでも文体が統一されていないという印象を受ける。担当者がそれぞれ作ったからか、例えば76頁の今後の課題のところ、最後の文体が、形成を図ります。創出します。というのに対して、78頁では、必要があります。進める必要があります。86頁では必要です。とあり、最後の文体がかなり統一されていない。全体的に統一をお願いしたい。</p>
市	<p>文体については、「現状はこうで、課題はこうする必要がある、それを受けた方針」と、本来はもっと揃えて提示すべきところだが、実はできていない。再度ご意見をいただいた内容で書きぶりについては、今後の課題にさせていただきたい。</p> <p>73頁の水道事業の基本方針についての書き方が他と違っているというご指摘も含め、担当部局と調整・修正していく。</p> <p>77頁は、現状と課題、基本方針の違いが明確になるよう調整する。</p>
委員	<p>全体に、わかりやすくまとめてあると思うが、1点だけ。</p> <p>「だれもが」という言葉について、たとえば3-4「だれもが地球温暖化対策を推進し〜」、3-5「〜だれもが命を守る意識を〜」などで使われている。いい言葉だと思うがすべてに入っているわけでもなく、人に関わることは入れてもらえると安心できるので入れてほしい。</p>
市	<p>「だれもが」を全部につけてしまうと、当たり前ということになってしまう。めざすまちの姿を再度調整するかも含めて検討してみる。</p>
委員	<p>資料はよく作りこまれていると思うが、気づいた点を。</p>

	<p>1点目, 64頁, 3-2の現状3番目で「全市一斉ごみ0(ゼロ)キャンペーン」とあるが, ごみがゼロには絶対にならない。教育面でも「ノー〇〇」でなく「ハーフ〇〇」と言うように言い方を変えてはどうか。</p> <p>2点目, 66頁, 3-3で, 今後の課題3番目の「マイバックの利用促進や食品ロス削減の啓発」が, 左の現状とつながっていない。</p> <p>3点目 69頁, 3-4の今後の課題2つめに「環境にやさしいライフスタイル」があり, 基本方針では, 「徒歩・自転車によるエコ移動など, ライフスタイルの見直しを促進します」とあるが, 「環境にやさしいライフスタイル」というのが抽象的でわかりにくい。</p> <p>4点目, 71頁「災害時の鉄道輸送を守るため, 水島臨海鉄道, 井原鉄道が行う耐震化を支援する必要があります」とあるが, 「災害時における鉄道輸送の経路を維持することで, 市民が安心して暮らすことができるまちをめざします」とつながっているのかどうか, 書きぶりがわかりにくい。</p> <p>5点目, 72頁の基本方針4番目, 水道について「ニーズに合ったお客様サービス」とはどのようなことか。</p> <p>6点目, 79頁, 駅のバリアフリーについて, 障がい者といっても目の見えない方もおり, バリアフリーだけでなく他にも配慮した文言を入れた方が良くと思った。</p>
市	<p>1点目, 言われることはわかるが, 確かにゼロはなかなか難しいが, それを掲げた実際の活動の具体例として記載している。こちらの方が環境美化活動としてわかりやすいのではないかという例示だ。</p> <p>2点目, 3点目は, 担当部局に伝えて再度調整する。</p> <p>4点目についても, もう少しわかりやすい文にできないか検討する。</p> <p>5点目は先ほどと同様。6点目は, 目の見えない方について, 音声案内でできるかなど, どのような方法があってどこまで書き込めるのか, 担当と調整したい。</p>
分科会長	最初に問題提起があった, 68頁「化石燃料」について, 他の委員さんはどんな意見か。
委員	先ほどの説明を聞くと, このままでよいのでは。
分科会長	他の方も異論はないようなので, ではこのままで。基本計画について, 他にご意見なければ, 全体についてはどうか。
委員	では質問として, 22頁で第3分野の漢字「繋ぐ」については, なぜこの字になったのか。ほかにも頁下に候補があるようだが。
市	<p>別の分科会でもご指摘をいただいている。あくまでも事務局案で, この文言が相応しいと掲げており, 他の候補については, こちらの方が良いのではないかという意見を言って頂くために, 残している。</p> <p>生活環境のところの, 「繋(つなぐ)」という文字が別の分科会で他の候補のつなぐ, いわゆる, 「つなぐ。ささえる。たもつ。大もとになるもの。」だが, このつなぐこちらの方が良いのではないかというご意見があった。事務局としては, 1つだけ挙げているが, 2つという考え方もあるのではないかと返しているところだ。</p> <p>25頁のめざす将来像で, 次代へ繋ぎの, 繋ぎが, 継ぐの方が良いの</p>

ではないかと。そうした時に、候補を 2 つにしてしまえば、その文言に変えられるということで、現在、事務局でもひとつに絞らないように検討している。修正案が出来ましたら、お示ししたい。

また、25 頁の左端、「めざす将来像」でも、漢字を使っているが、別の分科会で、5 つの分科会の文字が全部入っているほうが、というご意見もあり、「慈」の字が将来像に入らないか検討しているところだ。

委員

スケジュールの中で、10 月頃にパブリックコメントと市民説明会とあるが、説明会とはどのように行うのか。

また、計画ができあがったあと、冊子はだれに配り、市民とどのように共有するのか。

市

説明会については、まだ詳細は決まっていないが、パブリックコメントだけでなく、市民の方に説明する場を設けたいと考えている。

また、七次総合計画ができたなら、このような計画冊子をつくるが、市民の皆さん全員にお配りすることは現実的にできないので、HPでの確認や、概要版の形などで広報紙等でお知らせすることを考えている。

分科会長

他に意見がないようなら、終了する。ありがとうございました。

#### 4. その他

次回の日程について

#### 5. 閉会